

27)言葉の使い方による心理的な情緒の展開

国立療養所 医王園

森 敏 一 中 山 緑
小 原 照 子 新 田 節 子

< 目 的 >

当病棟では狭いスペースの中で40名の子どもが生活しており、狭いというんとは情緒不安定や社会性の発達を乏しいものにする原因にもつながるようにも思われる。そこで、K君を通して友達関係、ならびに職員とのコミュニケーションの充実をはかり、遊びを通して豊かな言葉と望ましい環境を与えていこうというものである。

< 方 法 >

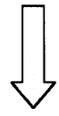
まずK君をリーダーとした14名のグループの組合せ（こども達が遊びながら自発性にでき上がったグループ）と遊びの内容を観察したうえで、アドバイスしながらK君の持っているリーダーとしての行動が発揮できる環境と満足感を得る経験の場を与えた。そのなかで豊かな言葉がもしくは、やさしい言葉が使えるよう試みた。

- 対象児 8才～14才まで 小中学生
- 自由遊び時間 夕食後の余暇時間
- K君には週間自由遊び時間表を作らせた。

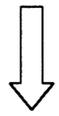
< 期待される意義 >

子ども達はそれぞれの遊びに必要な遊具は準備（子ども達が重くて持てないものに対しては職員が手伝う）するなど積極性と自発性の遊びがみられた。またガキ大将でしかなかった彼はリーダーに置きかえることによってすべての面で大きな変化があり、機能低下の点では悩んでいる場面もあった。しかし現在は自分の時間を上手に使えるようになり詩を書いたり文通したりで楽しい生活を送れるようになった。と同時に14名のグループメンバーも協力して遊ぶ喜びを経験しながら社会性の発達を可能にするのではないだろうか。また遊びを通してその人の人格形成が保障される等の意義がある。

今後もなお機能障害や身体的、精神的なハンディに耐える限界を理解し謙虚な言葉の働きかけを続け、望ましい環境を与えていきたい。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



<目的>

当病棟では狭いスペースの中で 40 名の子どもが生活しており、狭いということとは情緒不安定や社会性の発達を乏しいものにする原因にもつながるようにも思われる。そこで、K 君を通して友達関係、ならびに職員とのコミュニケーションの充実をはかり、遊びを通して豊かな言葉と望ましい環境を与えていこうというものである。